／５２０教育家庭新聞／２２７９／０１面７７行／紙面レイアウト Page 1 出力日時 2025年12月24日14時21分32秒 (1)

教育家庭新聞

2026年（令和８年）

１月１日

木曜日

第２２７９号

発行所＝教育家庭新聞社
〒111-0053東京都台東区浅草橋3-1-8
TEL:03(3864)8241㈹　FAX:03(3864)8245
郵便振替口座 1309−53693　Eメール kks@kknews.co.jp
https://www.kknews.co.jp/
創刊 昭和36年７月

©教育家庭新聞社
1部 520円

より質の高い深い学びを実現する

探究的な学びを充実

情報活用能力を基盤に

「主体的・対話的で深い学び」を推進するため、小中学校では「総合的な学習の時間」及び「各教科」において、高等学校では「総合的な探究の時間」及び「各教科」において、探究的な学びを充実することが求められている。さらに次期学習指導要領においては「情報活用能力」を基盤として探究的な学びを一層進めることが盛り込まれる方向だ。具体的には、総合的な学習の時間に「情報の領域（仮称）」を付加。ここで「ミニ探究ユニット」として探究のプロセスにおいて情報活用能力の諸要素を学ぶ小単元と、情報技術に関する基礎的な内容を学ぶまとまりを付加する。本案について、情報・技術ワーキンググループ（WG）の参加委員の多くが賛成している。

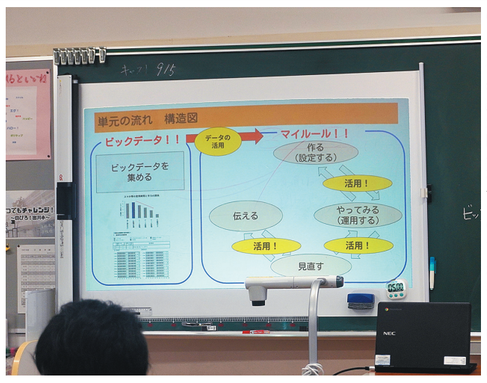
探究的な学びは高等学校で総合的な探究の時間が必修化されこともあり、取組数が増えた。そのためこれまで起こりにくかった課題や、表面化しにくかった課題が表出ししやすい面がある。例えば「十分に調べずに外部の方に質問（メール）する生徒がいる」「調べたことの羅列になっている」などが現実に起こっていると聞く。しかし情報の領域（仮称）で目指す情報活用能力の育成は、現状起こっている課題を解決する可能性がある。解決したい課題についてどのような情報活用能力を育成すべきかを改めて考えてカリキュラムを検討するという方法もあるだろう。課題は、情報の領域（仮称）を経験しないまま高等学校で総合的な探究の時間に取り組み、かつ学校として経験が豊富とはいえない層への対応だろうか。

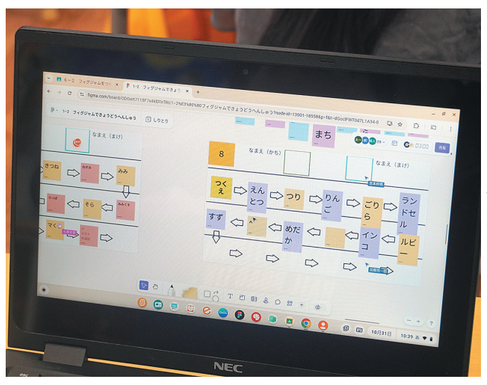
情報端末が配備される以前から「課題探究」などに取り組み、成果を上げている高等学校もある。例えば「探究」に25年以上、取り組んでいる京都市立堀川高等学校では、長年の紆余曲折を経、現在は1年前期に、自分自身の興味を問い直して深める活動や、身近な事象を見る目を養う活動を行ってから、後期にゼミ形式で探究を進めている。情報の領域（仮称）で付加されるミニ探究のイメージにも重なる。「知っているつもりだがきちんと説明できないもの」を身辺から見つけて調べ、整理・他者に説明することで課題を見つける目を養うという同校の取組は「課題発見」に悩む学校に参考になりそうだ。

鹿児島県立国分高等学校では1年次に地域の豊富な資源についてフィールドワークを行い、課題設定に活かしており、地域資源が豊富な特性をもつ学校に参考になる。外部への発信意欲も高い。

断片的な知識・経験をつなぐ力＝教養を育むことに着目して取り組んでいるのが、福井県立藤島高等学校だ。オリジナルテキストも素晴らしく、文系分野の課題研究は文献が重要であると考えて図書館も充実している（いずれも文科省「マナビカエル～高校の学びを次の時代へ」に事例掲載）。3校ともに体験を知とつなぐ＝記号接地することを意識しており、生徒も生き生きと調査や発表活動に取り組んでいる。探究のサイクルをより大きく、高次に導くものが経験や調査、先人の成果に関する知識による記号接地ではないかと改めて感じている（関連14面）。

探究的な学びは小・中・高と取り組むため課題はそれぞれ異なるであろうが、学校種が異なっても参考になる面がある。好事例の整理は今後一層、重要になりそうだ。





中核的な概念を整理

使いやすい学習指導要領に

「中核的な概念」の浸透に期待している。中核的な概念とは、次期学習指導要領の検討のなかで出てきたもの。学習指導要領をデジタル化して使いやすくし、かつ学びの目的を見通しやすくするためにシンプルにして授業内容を検討しやすくする、それにより「教科書を教える」のではなく、中核的な概念につながるそれぞれの学習内容を「教科書で教える」ようにする。そのために各教科等の中核的な概念・方略の整理・構造化について具体的に検討を進めようという文脈だ（文科省資料「学習指導要領の構造化を進めるに当たっての諸論点」2025／4／25）。

中核的な概念をすべての教員、すべての大人が理解すれば、例えば「なぜ公式があるのか」「なぜ分数を学ぶ必要があるのか」「なぜ漢字を学ぶのか」などの子供の素朴な疑問に大人が明快に回答できるようになるのではないか。そうなれば、何のために学んでいるか、そのために身につけるべきものは何かを理解しやすくなり、学びに向かう力は自然に高まるだろう。

中核的な概念はシンプルであるほどよいと思う。既に各教科等WGでは検討が始まっている。例えば体育科・保健体育科WGでは中核的な概念について「心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力」「生涯を通じて自らの健康や環境を適切に管理し、改善していく資質・能力」が案とされているようだ。これをさらにシンプルにして「生涯にわたり健康な心身を保つ」としてはどうだろう。

例えば中核的な概念を踏まえたマット運動とは何か。小学生当時、マット運動の意味をまったく理解していなかったが「効率的に意図した動きができる」「生涯にわたり健康を保つ」ための身体のコントロール方法を知ることだろうか。

若い頃から活躍しているアスリートも年齢とともに故障が増えがちで残念に思っている。しかし身体のコントロールを意識することで、例えば速い球を投げる、高く跳ぶなど個別の運動能力を高めることに加えて、故障しにくい身体の使い方や酷使した場合の修復方法を考えるようになり、故障も減るのではないか。アスリート生命を伸ばすことについて探究することも考えられる。年齢を重ねるほど身体は硬くなり痛みも生じるが適切な対処によりそれを自らコントロール・緩和することも可能だろう。健康年齢を伸ばすことにもつながりそうだ。そう考えるとマット運動の評価基準も変わってきそうだ。スポーツライフ（観戦も含め）もこれを実現するための選択肢の一つで良いのではないか。

身体と心の関係についても考えることができればなおよい。メンタルの問題から生じる身体の不具合も身体的なアプローチで軽減する場合があると感じているからだ。

健康教育につながるさまざまな〇〇教育（がん教育、くすり教育、傷の手当、アレルギー反応の恐ろしさや強烈な悪影響を及ぼす化学物質など内容は多岐にわたる）も、健康的に日々を積み重ねるための知識や知恵、成果の一部を知る機会であると理解できれば、将来、自らそういった情報にアプローチすることもできるだろう。やみくもに医者に訪れる機会も減り、医療機関の負担減につながるかもしれない。

感想文はなぜ書くのか。漢字の書き取りをなぜ行うのか。自分の考えをわかりやすく正確に、円滑に伝えることや他の人の考えや意見を正確に理解することを本来の目的＝中核的な概念と考えるとすれば、デジタル社会が浸透した今、これまで当たり前とされてきた学習内容も変わる可能性が生じる、という点も理解しやすくなる。この学習がなくなった、だから学力が低下した」などの単純な分析にはならないはずだ。デジタル学習基盤を前提として改めて中核的な概念を示すことが成功すれば、すべての人が「読みたい」と思う学習指導要領になるのではないかと期待している。

校務ＤＸ環境の構築

補正予算で初期費用等を支援

2024年の「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト」に基づく学校・学校設置者の自己点検結果によると、次世代校務DX環境を「整備済」もしくは「導入に向けて検討している」教育委員会は既に約8割に達している。ただし導入済は6・1%に過ぎない。そこでこの動きを加速するため文部科学省は「GIGAスクール構想支援体制整備事業」を2025年度補正予算において計上している。本事業は都道府県域での共同調達・共同利用及び帳票統一を前提に、自治体の次世代校務DX環境整備に係る初期費用（校務系・学習系のネットワークの統合に係る費用や、校務支援システムのクラウド化に係る費用等）を支援するもので、1校につき680万円を計上。補助割合は1／3だ。

これに関して同省は2025年12月10日、都道府県教育委員会の担当者を主な対象として次世代校務サミットを開催。次世代校務DX環境については「今の環境でできる校務DX」「環境整備を伴う校務DX」「教育現場のセキュリティ対策」の3段階が示されているが、この日は環境整備を伴う校務DXを主テーマとし、担当者が次世代校務DX環境について説明。それによると次世代校務DX環境では、ロケーションフリーでの校務環境とするためクラウド化が必須。しかし児童生徒の成績情報等の重要性の高い情報をクラウド上で扱うため、第三者に内容を見られないこと、なりすましや不正アクセスから守ること、端末を管理・監視してウイルス感染を防ぐ対策が必要とされている。そのためには「情報ごとに真に必要な者に限定してアクセスする」仕組みの構築が求められる。この環境を実現するための要素として「強固なアクセス制御による対策の実施」「ネットワーク統合」「クラウド型校務支援システムの整備」の3要素は「一体不可分」であり、関連システムについて都道府県教育委員会の主導のもと、共同調達・共同利用しながら整備・運用することとしている。

クラウド型校務支援システムについては、県下の各市区町村が同じ校務支援システムをそれぞれ導入して利用するシングルテナント構成ではなく、県域で1システムを導入し、それを複数の小中学校が共同利用するマルチテナント構成を想定されている。

また、共同調達及び共同利用により仕様書作成・調達業務やサポート対応等の省力化やボリュームディスカウントの可能性のほか、転出入対応など、域内におけるデータ連携を実現しやすくなること、域内で教育情報セキュリティポリシー等の統一を図りやすくなることなどが考えられるとしている。

なお本補正予算には、教育情報に関するセキュリティポリシーの策定・改訂支援等、学校DXに向けた技術的なコンサルタントに要する経費（1校につき20万円）やネットワークアセスメントの結果を踏まえたネットワーク課題解決に係る初期費用（1校につき240万円）についても計上。ただしネットワークアセスメント調査そのものについては、今回は計上されていない。

補助事業は現場ニーズから予算が計上される傾向にある。次世代校務DX環境については整備が進むにつれ今後も様々なニーズが生じてくることが考えられる。補助事業対象のうちに着手する必要があるだろう。

紙面案内

年頭所感

文部科学省・省庁　2・3面
教育関連団体　4－7面
47都道府県教育長　8－12面
学校施設　13面
次期学習指導要領に向けて（寄稿）　14面
ＳＤＧｓ・消費者教育　15面
新春鼎談　次世代の校務ＤＸ環境　16面

■X（旧Twitter）
@kyoikukatei

■KKS Webはこちら→

新春特別号

＊税込　西村書店〈新刊〉
伝記絵本　登山家
◆図書館・教育関係者に！【カラー版】
ともだち ひみつ 大図鑑　文・絵／ペラン　訳／ひがき ゆみ　●2420円
ぶかぶか靴の子さん、あったかハートさん、電気ビリビリさん…ともだち38人！自分のタイプがわかる質問リスト付（総ルビ）
世界ではじめてエベレストの頂点に立った女性
田部井淳子の物語　安田アニータ 文　清水裕子 絵　おおつかのりこ 訳　●2200円
カラー図鑑　あなたの祖先がわかる
フェミナ・サピエンス 全史
人類の進化と女性の祖先
篠田謙一 監修　●2970円
千代田区富士見2-4-6☎03-3239-7671

世界の名木と伝説図鑑
コリン・ソルター 著　世界最長寿の木や、神話に彩られた聖なる木、圧倒されるようなスケールの巨樹など、伝説が語り継がれる歴史的な木々を写真とともに解説。5280円
香りの博物図鑑
香料から道具、調合、歴史まで　マンディ・アフテル 著　香りの系譜から調香の技術、歴史、神話におけるエピソードまで、世界的調香師の秘蔵コレクションでたどる。4180円
原書房　☎03-3354-0685（税込）FAX03-3354-0736
〒160-0022東京都新宿区新宿1-25-13

合同出版〈最新刊〉
オーバードーズする子どもたち
なぜ、「助けて」が言えないのか？　松本俊彦［著］
「市販薬」を過剰摂取する子どもが急増している。「ダメ。ゼッタイ。」一辺倒の日本の薬物対策は、はたしてこのままで良いのか。■1650円
「自分が嫌い病」の子どもたち
自己否定のループから抜け出すための心理的サポート　成重竜一郎［著］
「理想の自分」と「本当の自分」のズレに苦しみ、自分自身を嫌う子どもたち。児童精神科医が実践する支援方法を紹介します。■1760円
〒184-0001東京都小金井市関野町１-６-10
https://www.godo-shuppan.co.jp/
TEL042-401-2932　FAX042-401-2931
ご注文は書店または☎048-291-9412

教育出版
好評3刷
ケース別Q&A 学校のための著作権マニュアル
「運動会で市販の音源を使うのって問題あるの？」「授業で市販の参考書をコピーして使いたいんだけど…」学校でよくある著作権の悩みとその対処法を解説！
藤田晶子 監修／西田光昭 編著
A5判　248頁　定価1980円(税込)
好評3刷
教育「変革」の時代の羅針盤
「教育DX×個別最適な学び」の光と影
教育「変革」政策の光と影を見極めて、「日本型学校教育」の再構築につなげる道筋について論じる。
石井英真 著
A5判　240頁　定価2860円(税込)
〒135-0063 東京都江東区有明3-4-10 TFTビル西館
TEL：03-5579-6725　FAX：03-5579-6693
https://www.kyoiku-shuppan.co.jp

親子で取り組むスモールステップ
場面緘黙の子どもが話せるようになるための練習ガイド
レイチェル・バスマン著　リリー・フォスターまえがき　園山繁樹／佐藤久美訳
不安を克服し人前で話せるように、家庭・教室・地域での練習方法を紹介。2420円
子どもたちのクリティカルな思考を育む
メディア・リテラシー教育の理論と実践
森本洋介著　情報を批判的に読み解き発信する力をいかに獲得させるか。3080円
ミネルヴァ書房
京都市山科区日ノ岡堤谷町1☎075-581-0296
税込／https://www.minervashobo.co.jp/

★創刊100周年★
科表 理年 2026
国立天文台 編
〔ポケット版〕A6判・1224頁
定価1,650円(税込)
〔机上版〕A5判・1224頁
定価3,520円(税込)
地震、異常気象など、私たちの身近な関心事の情報も網羅した科学データブック。
丸善出版
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17
https://www.maruzen-publishing.co.jp

朝倉書店
新シリーズ刊行！『コミュニケーションに役立つ日本語学の10章』
◎日本語の音声によるコミュニケーションの上手な方法を解説。
きちんとことばを伝えるための10章　山下洋子 編著　A5判 128頁 定価2420円
◎日本語コミュニケーションで必須の敬語表現をやさしく解説。
敬語を上手に使いこなすための10章　山本喜喜 編　A5判 120頁 定価2420円
海洋について学び行動するために！
海の事典
―海の未来を考える―
日本海洋学会・日本海洋政策学会 編集
B5判 352頁 定価5940円
新宿区新小川町6-29
☎03-3260-7631・FAX03-3260-0180
https://www.asakura.co.jp(税込)

オーム社
会話で楽しむ宇宙物理学　言葉の意味、本質がわかれば、物理も宇宙ももっと身近になる！　波場直之 著　A5判／240頁／2640円／ISBN978-4-274-23427-9
物理学の世界地図かいてみた　物理学系VTuber／現役の研究者による物理学世界へのガイドブック！　固体量子 北川俊作 著　監修　A5判／288頁　2750円　ISBN978-4-274-23216-9
101-8460東京都千代田区神田錦町3-1
TEL03(3233)0853　FAX03(3233)3440
https://www.ohmsha.co.jp(価格は税込)